

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,853千円	8,073千円	97,839千円	0千円
	総人件費	16,772千円	23,368千円	52,777千円	
	総事業コスト	18,625千円	31,441千円	150,616千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	国体推進課	国体推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	06	01	15	いきいき茨城ゆめ国体に要する経費

事務事業名	01	いきいき茨城ゆめ国体推進事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-								
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
	-		実績	-	-	-	-	-	-	-						
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度								
	-			限られた期間の中で効率的に準備を進めていくために専門部会や庁内推進会議などを計画的に進める。				本年度は、正式種目2競技のリハーサル大会を開催し、競技に対する関心を高めるとともに、本大会に向け大会運営の課題を抽出し、反省点等を反映させる。また、イベント等での競技体験を通じ、当市開催競技や障害者スポーツ等への関心を高め機運醸成に努める。								
	-															
市長公約	No.80		事業計画	5月 実行委員会設立総会、第1回総会、第1回常任委員会 7月 インターハイ視察(自転車)、競技会場等設計業務委託発注 8月 インターハイ視察(アーチェリー)、福井国体リハ大会視察(自転車、アーチェリー)、まつりつくばクリテリウム 10月 愛媛国体視察(アーチェリー、自転車)、愛媛大会視察(アーチェリー、車いすバスケット) 11月 庁内推進本部設置 12月 愛媛国体事業概要説明会 2月 アーチェリーリハ大会設営業者選定 常任委員会・専門委員会開催随時				5月 実行委員会第2回総会、第3回常任委員会、(随時)常任委員会・専門委員会、庁内推進本部会議・幹事会の開催 6月 リハーサル大会開催(アーチェリー) 8月 まつりつくばクリテリウム 10月 福井国体視察(アーチェリー、自転車)、福井大会視察(アーチェリー、車いすバスケット) リハーサル大会開催(自転車) 1月 福井国体事業概要説明会 国体PR活動：つくばフェスティバル・まつりつくば・産業フェア他				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-			実行委員会設立総会、第1回総会、常任委員会(5・10月 2回)、常任委員会・専門委員会(随時) インターハイ視察(自転車)(7月)、インターハイ視察(アーチェリー)、福井リハ大会視察(自転車、アーチェリー)、まつりつくばクリテリウム(8月) 愛媛国体視察(アーチェリー、自転車)、愛媛大会視察(アーチェリー、車いすバスケット)(10月) 愛媛国体事業概要説明会(1月)、庁内推進本部設置(2月)、競技会場等設計業務委託完了(3月) 国体PR活動：つくばフェスティバル・まつりつくば・産業フェア他				事業費(A)				1,853千円	8,073千円	97,839千円	0千円	
根拠法令等	スポーツ基本法			市実行委員会及び庁内推進本部を中心に、市民・企業・団体・行政の協働により、大会開催に向けた準備を進めることができた。愛媛国体・障害者スポーツ大会、福井国体リハ大会の視察や事業概要説明会への参加、及び近隣市町村との意見交換等により、情報の収集・共有が図れた。各種イベントにブースを出展し、競技体験やグッズ配布等を通して積極的にPRを行い、大会開催の機運を高めることができた。				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	C 義務的事業			各種イベントへのブース出展や競技体験会等を実施し、競技に対する関心や実施意欲を高めることで気運の醸成を図り、両大会の成功につなげていく必要がある。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	45,348千円	0千円
執行体制	職員のみ										地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	平成31年に開催を予定している「いきいき茨城ゆめ国体」「いきいき茨城ゆめ大会」に向け、先催県の情報収集を行いながら準備を進め、大会の成功につなげる。										その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
											一般財源	1,853千円	8,073千円	52,491千円	0千円	
事業の概要	国体の正式競技として「自転車(ロード)」と「アーチェリー」の2種目。公開競技として、「パワーリフティング」デモンストラーションスポーツとして「ダンス&パフォーマンス」と「スポーツ鬼ごっこ」の開催を予定。また、「ゆめ大会」については、主催である県と連携を図りながら計画的に準備を進めている。先催県の視察を行い情報収集をするとともに、実行委員会及び庁内推進本部の運営を行いながら平成30年度のリハーサル大会、平成31年度の実施本部の体制を整備し、競技会等の円滑な運営を図り、両大会を成功させる。										人件費(B)	16,772千円	23,368千円	52,777千円		
											正職員	従事割合	2.00人	3.00人	7.00人	
ISO 14001	H29 環境関連性	-	事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況	達成	H31年度当初積算根拠						
	H30 環境関連性	○ 廃棄物発生の抑制	評価				有効性	中：適切な成果が得られている	有効性	-	理由					
		平成30年度は、リハーサル大会の開催を予定しており、大会時の看板の再利用や競技会場の美化に努める。	評価				効率性	中：適切な費用対効果が得られている	効率性	-	H31年度の方向性					
			評価				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	総合評価	-	理由					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	0千円	0千円	0千円	0千円
	総人件費	0千円	0千円	0千円	
	総事業コスト	0千円	0千円	0千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	国体推進課	総務企画係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	03	14	社会参加の促進に要する経費

事務事業名	1	全国障害者スポーツ大会事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-									
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
	-	-	実績	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-				
	-	-		-				全国障害者スポーツ大会事業を国体推進課と情報提供を密にし、円滑な事業推進を図る。									
市長公約	-	-	事業計画	-				<ul style="list-style-type: none"> 県や競技団体との連携を図り、開催準備を進める。 先催地視察をし、大会運営等当市の今後の取り組みの参考とする。 車椅子バスケットボール、アーチェリー競技の体験会を開催する。 行事、イベント等で事業PRを行い、マスコットキャラクターを活用した広報を実施する。 				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	-	-	活動実績	平成29年度は保健福祉部障害福祉課において事業を実施				<ul style="list-style-type: none"> 上半期活動実績				事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円	
根拠法令等	スポーツ基本法第26条		成果	-				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	B 任意的事業(小規模)		課題	国体と障害者スポーツ大会の連携を円滑にする。広報のために車いすバスケットボールやアーチェリーの体験会を行う必要がある。				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ		事業の進捗状況	-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	第19回全国障害者スポーツ大会の開催を機に、障害者スポーツへの関心を高め、更なる普及・振興を推進する。		改善目標の進捗状況	-				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	本大会は、平成31年10月12日(土)～14日(月・祝)、同年の5月25日(土)～26日(日)にかけてリハサル大会が行われる予定。当市は、正式競技2種目：アーチェリー(身体障害)、車椅子バスケットボール(身体障害)及び、オープン競技1種目：ハンドアーチェリー(身体・知的)の会場地となっている。		有効性	-				-				一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29環境関連性	-	評価	-				-				人件費(B)	0千円	0千円	0千円		
	H30環境関連性	-	効率性	-				-				正職員	従事割合	0.00人	0.00人	0.00人	
			総合評価	-				-				時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
												臨時職員等	-	-	-		
												事業コスト(A+B)	0千円	0千円	0千円		
												H31年度当初積算根拠	-	-	-		
												H31年度の方向性	-	理由	-		